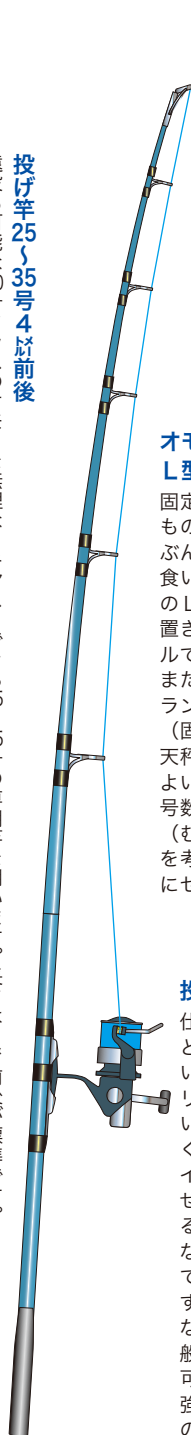


道糸：ナイロン3～5号

細号柄を使えるぶん飛距離に勝るPEを使うベテランも多いですが、強風時の扱いやすさや、伸縮性のあるしなやかさによる食い込のよさといった利点のあるナイロンの方が総合的に見ると扱いやすくおすすめです。

号数は砂地を釣る場合は3号、シモリやカケアガリなどの海底の起伏に富んだ場所では4～5号を選択するのが一般的です。ただし、キャスト時には重い仕掛けの負荷が道糸に集中し、あっという間に切れることがあります。その不具合を抑えるために道糸の先に力糸と呼ばれるテーパーライン（ナイロン3→12号といった具合にテーパー状に太くなる）をセットします。細い方の号数の表記が、使用する道糸の太さに近いアイテムを選びましょう。

投げ竿 25〜35号 4桁前後
遠投も可能な30号クラスのオモリを無理なくキャストできる25〜35号の専用竿を用います。長さは4桁前後が標準です。仕様として、穂先までの番手を元竿から引き出す振り出しと、各番手を継いでいく並継ぎの2つのタイプがあります。構造上、パワーロスが少ないぶん飛距離を稼ぎやすいなどのメリットが並継ぎにはありますが、やや値が張るのがネックです。キスの引き釣りのように遠投するほど有利という釣りではないため、比較的リーズナブルであり、コンパクトに収納できる振り出しタイプがおすすめです。並継ぎほどの反発力がないぶん食い込みがよいという点でも置き竿のスタイルにマッチしているといえます。



道糸と力糸は
電車結びで接続

オモリ：遊動式の L型天秤オモリ25～35号

固定式に比べて飛距離は劣るものの、ラインが行ききするぶん抵抗が小さく、よりよい食い込みが期待できる遊動式のL型天秤タイプを使うのが置き竿でアタリを待つスタイルでは一般的です。

また、飛距離と食い込みのバランスが取れた半遊動タイプ（固定式と遊動式の中間的な天秤オモリ）を使用するのもよいでしょう。

号数は、飛距離と潮流の速さ（むやみに流されない重さ）を考慮して25～35号を中心にセレクトしましょう。

投げ釣り用スピニングリール

仕掛けを遠くに飛ばせる遠投性と、重いオモリを巻き上げる強いトルクを兼ね備えた投げ専用リールがベストです。カレイ狙いだけでいえばドラッグ機能はなくても問題ありませんが、マダイやスズキなどの強い引きを見せる他魚がいるエリアへ釣行する際は、竿が海中へ引き込まれないようにラインを送る調整ができるドラッグ機能つきが安心です。

なお、飛距離は落ちるもの一般的なスピニングリールも使用可能です。巻き取りのトルクの強さを考慮して4000～5000番の中型を選択しましょう。

サルカン2～6号前後

ヨリモドシともいわれるように、仕掛けのヨレを軽減する効果があります。遊動式のL型天秤を使用する際は、天秤の上部のカンをすり抜けないサイズを選びましょう

道糸とモトスはサルカンで接続

モトス：フロロ5～8号、 ハリス：フロロ3～5号 （エダスの長さは10～15号）

モトス、ハリスともに張りがあるぶんからみみくく、潮なじみのよいフロロを用いるのが一般的です。

食い気の立ったカレイに対しては、太さの違いが食いに影響することがあまりないため、その釣り場で狙える最大サイズに適應する太めを選択しましょう。40号前後を想定するならモトス6～8号、ハリス4～5号が目安となります。

そして、オモリ回りで起こる糸ガラムを軽減するために、仕掛けの上部に張りをを持たせるためのヨリ糸（仕掛けの上部を折り返して擦る。スナズリともいう）を作るのが一般的です。

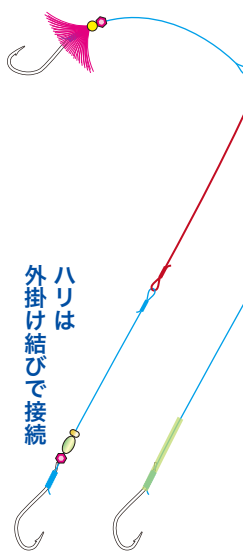
仕掛けの構成は、モトスにエダスを1本出した2本バリ式が標準です。また、下バリと上バリの距離が近いぶん餌を効果的にアピールできる段差式（モトス先端に2本のハリスを接続）も有効です。

なお、アピール度を高めたり、仕掛けのなじみを調整する目的でハリ回りにセットする装飾品にこだわるベテランも多くいます。夜光玉、ビーズ、フェザー（羽毛）、エッグボールなど、さまざまな素材やカラーを自分なりに組み合わせると効果的なパターンを見つけるのも楽しいものです。

仕掛けの全長は1桁前後

ハリスはチチワで接続

（モトスのチチワの作り方は別図を参照）



外掛は
ハリは
結びで接続

カレイバリ13～15号、丸セイゴ15～16号

カレイの小さな口に入りやすい細長い形状の専用バリを使用します。サイズは、35号前後の良型が狙える場所では13～15号が目安です。

また、フトコロが広くてスッポ抜けが少ない丸セイゴもおすすめです。その他、虫餌がズレにくいケンつきタイプ、根掛かりしにくいようにハリ先にネムリが入ったタイプなどが効果的な場面もあります。釣り場の状況や自身のスタイルに合わせて選択しましょう。なお、フグが多い場所ではチモト回りをビニールパイプで保護するのが有効です。